

利尻山の登山道保全にご協力ください

平成20年11月 利尻山登山道等維持管理連絡協議会

1) 企画・募集段階

● 募集要項に利尻ルールを掲載してください

利尻ルールとは、当協議会が利尻登山のマナーとして呼びかけている地域ルールです。

利尻ルール

- ① 携帯トイレを使う
- ② スtockにキャップをつける
- ③ 植物の上に座らない、踏み込まない

● 「1パーティー最大14名まで」を推奨します

安全管理及び登山道保全、混雑緩和の観点から、利尻山の登山ツアーは、引率者1名に対して被引率者4～6名までの人数設定（1パーティー最大12名まで+引率者）で実施することを推奨します。（利尻山のコースグレードを、旅行業ツアー登山協議会設定の「コースグレード及びガイドレシオ参考表」の5相当とした場合）。

なお、体力や歩行ペースで班分けをして、時間差をつけて出発することも併せて推奨します。

*平成20年度6～9月の1ツアー平均人数は17.2人でした。

*当協議会では環境に配慮したガイドレシオの設定を呼びかけています。

2) 実施段階

● 利尻ルールを伝え、実践してください

利尻ルールをはじめとして、自然に与えるインパクトを最小限にする歩き方や休憩のしかたを、参加者に伝え、実践してください。

この時、このこと

行動中>>>

道のゆずり合いは数人ずつに分かれて広い場所で行う、ぬかるみ避けて脇道を歩かない、トイレはトイレブースのある場所で済ませる

休憩時>>>

通路をふさがない、土手に座らない、パーティーの人数に見合った広さの場所で休む、6.5合目トイレブースの周辺は狭いので利用者以外は6合目で休むようにする

● 混雑の緩和にご協力ください

山頂付近は、9時半から11時半までの時間帯に登山者が集中します。状況に応じて山頂での昼食休憩を自粛するなど混雑緩和にご協力ください。

また、すれ違いの際は、パーティーを数人ずつに分けるなど、他の登山者と声を掛け合って調整してください。

利尻ルールを呼びかける背景

～脆く、傷つきやすい山だからこそ～

利尻山の山頂付近には、火山性の脆い地層が露出しており、登山者の踏みつけや雨などの影響から、ここ十数年で急速に土壌侵食が進んでいます。当協議会では、毎年登山道の維持補修を続けていますが、一度傷つけた自然を修復することは容易ではありません。また、補修作業とともに登山マナーの普及などソフト面の対策も進めていますが、これには登山者の協力が欠かせません。しかし、登山道の荒廃過程は、一回の登山だけでは変化が見えにくく、例えば休憩時の植生への座り込みなどは、その繰り返しによって裸地が広がることまで気が付かず、登山者自身が知らず知らずのうちに荒廃を拡大させていることも多いのが現状です。このままでは、今後も登山を楽しめる環境を維持していく事はできません。

その中、利尻ルールの普及を呼びかけることには、利尻山が脆く傷つきやすい山だからこそ、「利尻登山の経験を、自分の一歩が山に与える影響について考えるキッカケにして欲しい」という願いが込められています。



1991

山頂付近の登山道荒廃 (左) 1991年→ (右) 2006年



2006

赤茶色に見える地層は、手で触れるだけで崩れるほど脆い。
左の写真では、ガレて歩きにくくなった場所を避けて歩く姿が見られます。

ツアー実施の参考情報

1) お知らせ

● 登山口に靴洗い場を新設しました

外来植物などの移入を防ぐ目的で、鴛泊コースの登山口に靴洗い場を設けました。水で靴底に付いた土をすすいでから入山してください。なお、下山者用の靴洗い場も併設しましたので、こちらもご利用ください。



靴洗い場（鴛泊コース登山口）
シーズン中には、靴を洗うマットがつけます。

● 携帯トイレとストックキャップを販売しています

利尻島では、島内の宿泊施設等、各所で携帯トイレ（400円）とストックのキャップ（400円程度：メーカー未定）を販売しています。

*原油価格高騰の影響で、価格が変動する可能性があります。最新情報は、別項記載の問い合わせ先にお問い合わせください。

2) 最新情報の入手先

● パンフレット類

利尻登山に関する各種パンフレット類を発行しています。利尻富士町、または利尻町役場商工観光係までお問い合わせください。

● ホームページでの情報配信

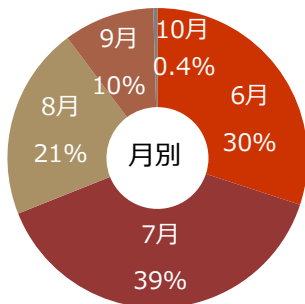
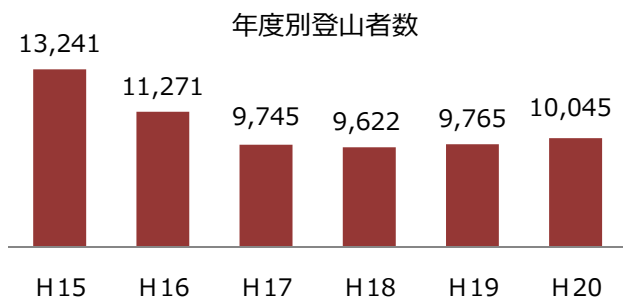
利尻富士町、利尻町、環境省利尻礼文サロベツ国立公園のホームページで、随時、現地の最新情報を更新しています。

● お問い合わせ先

その他現地情報等については、利尻富士町、または利尻町役場の各商工観光係までお問い合わせください。

利尻富士町役場	0163-82-1114
利尻町役場	0163-84-2345

利尻登山の概況



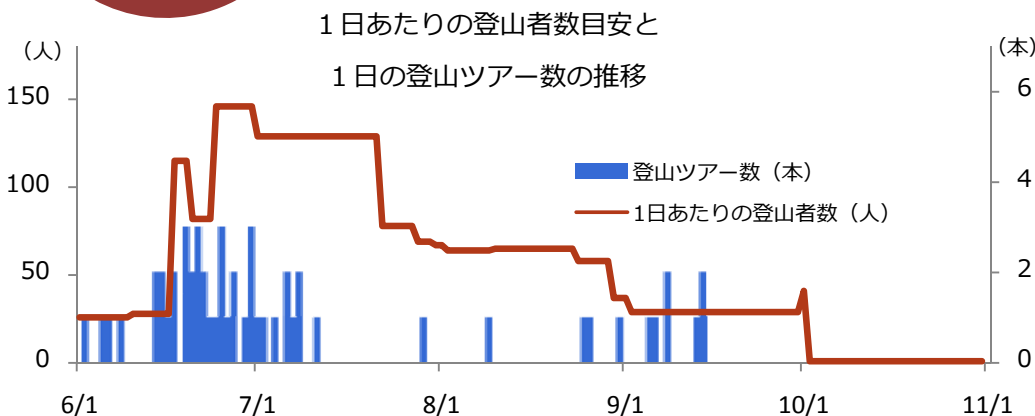
年間登山者数は、近年1万人前後で推移していますが、月別に見ると、高山植物が見頃を迎える6月中旬から7月中旬に、個人、ツアーともに、利用が集中していることがわかります。

利用の集中は登山者自身が解決する？

行動時間の長い利尻山は、ほとんどの登山者が出発から下山まで、ほぼ同時間帯に移動を行わなくてはならず、そもそも渋滞が発生しやすいのですが、このままでは山にも登山者にもストレスが溜まる一方です。

そのため、少しずつではありますが、集中緩和の対策もとられはじめています。例えば、登山者自身が渋滞を回避する行動を選択できるようにと、次のトイレブースまでの所要時間を記した案内板を設置したり、利用集中日の情報を提供したりという取り組みです。

渋滞を起こすほど全国の登山者を惹きつけてやまない利尻山。その魅力を次世代に引き継ぐために登山者には何ができるのでしょうか？一人ひとりがほんの少しでも意識して行動できるように、利尻島からメッセージを発信し続けたいと思います。



データについて○左上グラフは、H20年までの両コース合計登山者数集計結果○左中央グラフは、H20年鴛泊コース登山者数集計結果○左下グラフの1日あたり登山者数目安は、H20年6月～10月間の登山者カウンター観測値記録(計17回)をもとに、記録日それぞれの間の増加数÷記録日間の日数で算出した。登山ツアー数は、H20年に登山計画書の提出のあったツアーの集計結果による。